

REALFORCE

取扱説明書

はじめに

このたびは、REALFORCE キーボードをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書ではキーボードの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用にあたっては、この取扱説明書をよく読んで正しく安全にお使いください。

システム要件

Bluetooth 接続

・Windows 11～ ・macOS 14.5～ ・iOS 17.5～ ・iPad OS 17.5～ ・Android 14.0～

・Bluetooth 接続の場合は、使用する接続機器が Bluetooth4.0 以降をサポートしていること。

USB 接続

・Windows 11～ ・macOS 14.5～

仕様

スイッチ方式	静電容量方式
ストローク	4.0mm
インターフェース	USB 2.0、Bluetooth Ver 5.0
電源（USB 接続時）	DC5V、200mA(MAX)
ケーブル長	約 1.8m
FULL キーボード 外形寸法、重量	452mm（幅）×146.5mm（奥行）×39mm（高さ）、約 1.3kg
テンキーレス 外形寸法、重量	366mm（幅）×146.5mm（奥行）×39mm（高さ）、約 1.1kg
対応電池	単 4 形電池 ×3 （単 4 形アルカリ乾電池、単 4 形マンガン乾電池、 単 4 形リチウム乾電池 単 4 形ニッケル水素充電電池）
動作時間	アルカリ電池使用時の目安 約 3 ヶ月（当社環境でのテスト値であり保証値ではありません。）

* 電池の動作時間は目安です。使用環境（キーボードの設定など）により異なります。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを
確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありま
したら、REALFORCE カスタマーセンターまでご連絡ください。

□キーボード本体……………×1 □取扱説明書（本書）……………×1

□USB ケーブル（Type C to A）……×1 □単 4 形アルカリ乾電池（動作確認用） ……×3

1

各部の名称と働き

背面

USB Type-C コネクタ 電源スライドスイッチ

前面

LED インジケータ Num Lk Caps Lk Scr Lk

底面

電池ボックス

電源スライドスイッチ

操作	動作
電源オン	突起側に寄っている 突起 → ○
電源オフ	突起とは逆方向に寄っている。 突起 → ○

機能	LED の状態
	LED の点灯状態 ○……点灯、●……消灯
ペアリングモード	青点滅（ゆっくり） LED の点灯パターン ○○○
ペアリング待ち	青点滅 LED の点灯パターン スロット 1：○●●、2：●○●、3：●●○、4：○○○
接続待ち	USB：緑点灯 Bluetooth：青点滅（速く） *LED の点灯パターンはペアリング待ちと同様
接続完了	USB：緑点灯（その後消灯） Bluetooth：青点灯（その後消灯） *LED の点灯パターンはペアリング待ちと同様
接続中スロット確認	青点灯（その後消灯） *LED の点灯パターンはペアリング待ちと同様
電池残量目安の確認	残量に応じて点灯（その後消灯） 30% 以上：緑 10% 以上：黄 10%未満：赤
バッテリーアラート	赤点滅（10 秒に 1 回）
エコモードの設定切替	緑色点灯（その後消灯） LED の点灯パターン Lv1：○●●●、2：○●●、3：●●○、4：○○○
キーマップの切替時※	設定した番号と同じ回数だけ水色点灯（その後消灯）
APC 設定の切替時	設定した番号と同じ回数だけ紫色点灯（その後消灯）
設定保存	白点灯で点灯（その後消灯）

※については、ご自身でキーマップを設定する必要があります。

3

電源をいれる

電池を使用する場合

- キーボード底面の電池ボックスカバーを、破線丸部 (2 ヶ所) を押しながら矢印方向にスライドさせ取り出します。
- 電池の向きを図のようにして矢印の方向にスライドさせて入れます。
電池 3 本のプラスとマイナスの向きを確認して、正しく入れてください。
注意：「電池についての注意事項」を参照してください。
- 電池ボックスのカバーを元通りに取り付けます。
電池ボックスのカバーは、「カチッ」という音がするまで閉じてください。
- キーボード本体背面の電源スライドスイッチを ON 方向（突起側）へ移動させ電源をオンにします。
※電池を交換する際は、電源スライドスイッチが OFF 方向（突起とは逆側）へ移動させ、電源がオフになっていることを確認してから、電池の交換を行ってください。

USB Type-C ケーブルを使用する場合

- 付属の USB ケーブルをパソコン本体の USB ポートとキーボード本体に接続してください。
- お使いの OS によって自動的にキーボードが認識され、ドライバがインストールされます。インストールにはインターネット接続環境、Windows Update へのアクセスなどが必要になる場合があります。

4

キーボードを使用する（Bluetooth 接続）

本製品と、使用する機器を Bluetooth で接続します。
Bluetooth USB アダプターを使用する場合は、Bluetooth USB アダプターの取扱説明書を参照して、Bluetooth 機能を使用できる状態にしてください。

1. ペアリングを開始する

本製品、および使用する機器の両方に、お互いの情報を登録して通信できる状態にすることをペアリングといい、ペアリングを行った機器同士を接続することで、機器の利用が可能になります。本製品は、使用する機器のペアリング情報を 4 台まで、ペアリングスロット 1～4 として登録できます。ペアリング情報を複数登録しておくと、使用する機器を簡単に切り替えられます。

はじめて接続する

本製品の電源スライドスイッチを ON 側にスライドさせます。
⇒ 電源がオンになり、自動的にペアリングスロット 1 でのペアリングを開始します。
このとき、LED インジケータは青色に点滅します。

ヒント

ペアリング情報が登録されていないときに、USB ケーブルを使用して給電すると、本製品は自動的に USB 接続状態になります。この状態から Bluetooth 接続に切り替える場合は、「使用する機器を追加する」を参照して、手順 2. から操作してください。

使用する機器を追加する

1. 電源スライドスイッチを ON 側にスライドさせます。
⇒ 電源がオンになります。

⇒ ペアリングモードに移行し、LED インジケータは青色でゆっくり点滅します。

3. Fn を押しながらペアリング情報を登録するスロットの数字キー（1～4 のいずれか 1 つ）を押します。

⇒ ペアリングが開始し、LED インジケータは青色に点滅します。
使用する機器のペアリング情報は、指定したペアリングスロットに登録されます。

ペアリング情報がすでに登録されているスロットを指定した場合、あとで登録した機器が有効になります。

2. キーボードを接続する

本製品および使用する機器に、お互いの情報を登録して本製品と機器を接続します。

Windows® 11

- スタートメニューの「設定」をクリックします。
⇒ 「Windows の設定」画面が表示されます。
- 「Bluetooth とデバイス」をクリックします。
⇒ 「Bluetooth とデバイス」画面が表示されます。
- 「デバイスの追加」をクリックします。
⇒ 「デバイスを追加する」画面が表示されます。
- 「Bluetooth」をクリックします。
- 「R4H_n（*1）」をクリックし、[次へ] ボタンをクリックします。
- 表示されているペアリング用の数字を本製品で入力し、Enter を押します。
⇒ 接続が完了します。

Android™

使用する機器によってメニュー名や画面名は異なります。

- 「設定」⇒「接続済みの端末」をタップします。
- 「新しいデバイスとペア設定する」をタップします。
- 「R4H_n（*1）」をタップします。
- 表示されているペアリング用の数字を本製品で入力し、Enter を押します。
⇒「R4H_n」に「接続済み」と表示されたら、接続が完了します。

macOS

オペレーティングシステムのバージョンによってメニュー名や画面名は異なります。

- 「Apple」メニューの「システム設定」⇒「Bluetooth」をクリックします。
⇒ 「デバイス」画面が表示されます。
- 「R4H_n（*1）」をクリックし、[接続] ボタンをクリックします。
- 表示されているペアリング用の数字を本製品で入力し、Enter を押します。
- [接続] ボタンをクリックします。
⇒ 「接続されました」と表示されたら、接続が完了します。
- 「キーボード設定アシスタント」画面が表示された場合は、[続ける] をクリックします。
- 表示される画面の指示に従って操作します。
- 「キーボードの種類を選択」が表示されたら、「JIS（日本語）」を選択し、[完了] ボタンをクリックします。

iOS / iPadOS

iOS または iPadOS のバージョンによってメニュー名や画面名は異なります。

- 「設定」⇒「Bluetooth」をタップします。
- 「Bluetooth」をオンにします。
- 「R4H_n（*1）」をタップします。
- 表示されているペアリング用の数字を本製品で入力し、Enter を押します。
⇒「R4H_n」に「接続済み」と表示されたら、接続が完了します。

*1：n にはペアリング情報を登録するキーの数字（1～4）が表示されます。
R4H の文字列部分は、専用ソフトウェアを使って変更することができます。
機器との接続が失われた場合は再接続を行ってください。複数のペアリング情報が登録されているときに接続先を切り替える場合は、「機能キー」を参照して、接続先の切替操作を行ってください。

6

機能キー

キー操作	動作
Fn + Esc Esc	ペアリングモード開始 / 解除
Fn + Delete Delete	ペアリングモード中：ペアリング情報を全削除
Fn + F1 F1	ペアリングモード中：スロット 1 ペアリング開始 接続中：スロット 1 の機器へ接続する。登録が無い場合はペアリング開始
Fn + F2 F2	ペアリングモード中：スロット 2 ペアリング開始 接続中：スロット 2 の機器へ接続する。登録が無い場合はペアリング開始
Fn + F3 F3	ペアリングモード中：スロット 3 ペアリング開始 接続中：スロット 3 の機器へ接続する。登録が無い場合はペアリング開始
Fn + F4 F4	ペアリングモード中：スロット 4 ペアリング開始 接続中：スロット 4 の機器へ接続する。登録が無い場合はペアリング開始
Fn + USB F5 USB F5	USB へ接続開始
◀ ▶ ◀▶	音量設定 * FULL キーボードは上段の機能キー単体で動作、テンキーレスは下段の Fn 押し合わせて動作
Fn + Chk F9 Chk F9	接続中のスロットを LED インジケータで確認
Fn + Chk F10 Chk F10	電池残量を LED インジケータで確認
Fn + Eco F11 Eco F11	エコモード切り替え * Lv1 ⇒ Lv2 ⇒ Lv3 ⇒ Lv4 ⇒ Lv1 ⇒ …
Fn + Save F12 Save F12	変更した設定を保存 * 設定を保存すると電源を入れ直しても設定が保持されます。
▲▼	APC 設定 1 ⇒ 設定 2 ⇒ 設定 3 ⇒ 設定 4 ⇒ 設定 1 ⇒ … * FULL キーボードは上段の機能キー単体で動作、テンキーレスは下段の Fn 押し合わせて動作
Fn + S M	シンプルモード 有効 / 無効切替え シンプルモードは、専用アプリケーションや N キーロールオーバー、マルチメディアキーが使えない、シンプルなキーボードとしてのモードです。初期状態では、無効となっています。
Fn + S O	センサー OFF モード 有効 / 無効切替え センサー OFF モードは、センサーの機能をオフにするモードです。有効にすると、エコモードによる無線オフからの再接続が電源スライドスイッチの操作でのみ可能となります。初期状態では、無効となっています。

注 1) シンプルモード / センサー OFF モードの切替に使う Fn キーは、キーマップ入替に関わらず、Fn が印字されたキーを使用します。
2 つのモード共通で、オフからオンにする場合は黄色に点灯、オンからオフにする場合は紫色に点灯します。切替え完了時には LED が白点灯します。

7

機能キー

キー操作	動作
Fn + W A S D	マウスカーソル移動 カーソル移動中、左 Shift を押し続けている間は移動速度が速くなります。
Fn + Z X C	左、中、右クリック
Fn + ↑ ↓	スクロール
Fn + ← →	チルト
Fn + Insert	LEDインジケータ輝度変更 * OFF ⇒ Low ⇒ High ⇒ OFF ⇒ …

注2) カーソル移動の速度アップに使う Shift は、キーマップ入替に関わらず、左 Shift キーを使用します。

エコモード

本製品は省電力機能が搭載されており、4 段階のエコモードで動作を選択します。
使い方に合った設定にすることで、電池の節約が可能です。

エコモード	一定時間、センサーの反応又はキー入力があった場合	時間
Lv1	無線オフ	15 分
Lv2（デフォルト）	無線オフ	30 分
Lv3	無線オフ	45 分
Lv4（カスタム可能）	無線オフ	60 分
OFF	—	—

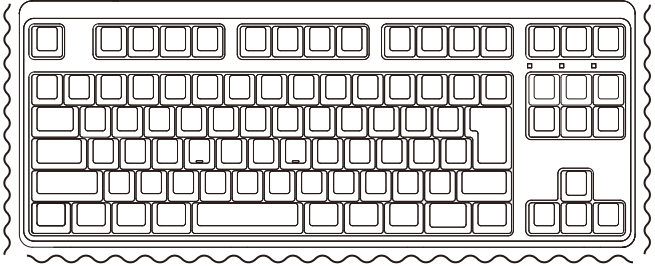
* USB 給電中は、自動無線オフしません。
* Lv4 の動作は、専用ソフトウェアを使用してカスタムすることが可能です。
カスタム設定では、無線オフ（自動的に無線をオフ、センサーの反応又はいずれかのキーを押すと再接続）、常時電源オン（無線の自動オフを無効）を選択することも可能です。
* エコモード OFF は専用ソフトウェアから設定いただけます。
* エコモード設定にかかわらず、ペアリングモードでは 3 分、登録機器に接続できない場合は 30 秒で、自動無線オフ（自動的に無線をオフ、センサーの反応又はいずれかのキーを押すと再接続）します。
* 初期設定は Lv2 となります。
* センサーについては P9 を参照ください。

8

2

センサーについて

本製品は工場出荷時より、省電力設定が有効になっています。
無線接続時に一定時間操作がない場合は、自動的に無線オフします。
下図、センサー付近（波線部）に手を近づけることで無線オフ状態から復帰しますが、手の動かし方や周囲の環境により、無線オフ状態が解除されにくい場合があります。
無線オフ状態が解除されない場合は電源スライドスイッチの ON/OFF 操作を行い再起動してください。
省電力設定を無効にする場合は、P7「センサー OFF モード」の操作を行ってください。
※センサー OFF モードにすることで乾電池寿命に影響があります。



専用ソフトウェア

専用ソフトウェアをご利用いただくことで、さらに多くの機能をご利用いただくことができます。
以下のサイトからダウンロードしてご利用ください。実行後、画面の指示に従ってインストールしてください。

<https://www.realforce.co.jp/>



警告

- 以下のような場合には、直ちに電源をオフにし使用を中止してください。
本製品を接続している USB ケーブルを取り外し、電池は発熱などの異常がないことを確認したあと、やけに注意した上で本製品から電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 - キーボードを落下了させた場合
 - キーボードから発煙したり、キーボードの外側が異常に熱くなった場合
 - 異臭がする場合
 - キーボード内部に異物（液体、クリップなどの金属片など）が入った場合
- 電池の液体が漏れたり、異臭がする場合は、直ちに使用を中止し、火気などの引火の危険性から遠ざけてください。電池の破裂、発火の原因となります。
- キーボードを分解したり、改造しないでください。
キーボードをご自身で分解した場合は保証の対象外となり、分解によって発生するいかなる損害に対しても当社は一切責任を負いかねます。
- 本キーボードは国内専用です。海外では使用しないでください。
- 以下のような高温、多湿の場所や換気が悪くほこりの多い場所には、キーボードを設置しないでください。高温によって、カバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、漏電や火災の原因となることがあります。換気、通気性の良い場所で使用してください。
 - ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、発排性可燃物やカーテンなどの燃えやすい物に近い場所
 - キッチンなどの油煙が発生しやすい場所
 - 風呂場、シャワールーム、プールなどの水場
 - 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、暖房機の近くなどの高温になる場所
- お子様が安易にケーブルに触れないようにしてください。誤って首に巻きつくと窒息の原因となります。また、キーキャップなどの小さい部品はお子様が発見し触れないようにしてください。誤って飲み込むと窒息の原因となります。
- 自動車運転中にキーボードを使用しないでください。事故の原因となります。
- 清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどがキーボード内部に侵入し、故障の原因となることがあります。また、静電気などによるスパーク（火花）により引火する恐れがあります。
- 電波利用が制限されている場所（医療施設など）では、その場所の指示に従い、使用しないでください。電子機器や医療用機器、植え込み型医療機器（心臓ペースメーカなど）に影響を及ぼす場合があります。これは電波利用機器としての一般的な特性であり、キーボード特有の特性ではありません。
- 重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。
- 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式キーボードを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にキーボード本体の電源を OFF にし、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします
※ 本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

電池についての注意事項

- 本製品には単 4 形アルカリ乾電池、単 4 形マンガン乾電池、単 4 形ニッケル水素充電電池、または単 4 形リチウム乾電池を使用してください。
- 古い電池と新しい電池と一緒に使用しないでください。液漏れや破裂の原因となります。異なる種類の電池を同時に使用しないでください。液漏れや破裂の原因となります。
- 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。
- 小さいお子様の手が届かない場所で保管してください。
- 電池に熱を加えないでください。また分解したり水中に投入したりしないでください。
- 古くなったり電力が弱くなったりした電池は使用を中止し、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。

お手入れのしかた

本製品が埃などで汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。また、スイッチ部に接点復活材を使用しないでください。
内部部品が劣化し摺動が悪化する可能性があります。

本製品について

本製品のスイッチ部には円すい状のバネが入っています。稀にキーを押下する際にバネの音が発生することがあります。また、キーにより打鍵感や打鍵音には個体差があります。
入力等の機能に影響はありませんので、ご了承ください。

Windows またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Mac、macOS、iOS、iPadOS は、Apple Inc. の商標です。
Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
Android は、Google LLC の登録商標または商標です。
その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

故障・修理・お問い合わせ

REALFORCE カスタマーセンター
ホームページからのお問い合わせ <https://www.realforce.co.jp/>



本書では、本製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、お客様に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、以下のような表示をしています。

警告表示	説明
危険	この表示は、取扱を誤った場合、死亡または重傷を負う危険が生じることが想定される内容です。
警告	この表示は、取扱を誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	この表示は、取扱を誤った場合、軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。
三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。	
丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。	
黒塗りの丸白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。	

安全にお使いいただくために

本製品に関する重要な警告事項は以下の通りです。
本製品を安全にご使用いただくために、以下の記載事項を必ずお守りください。

危険

- 本製品は防水仕様ではございません。
水、海水、飲料水などの液体で濡らさないでください。電池の発熱、破裂、発火の原因となります。
- 高温になる場所（火のそば、暖房機器のそば、直射日光のあたる場所、炎天下の車内など）や低温になる場所、または、標高が高く気圧が低い場所でも、キーボードや電池を使用、保管、放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。
- キーボードや電池を燃やしたり、火の中に投げ込まないでください。電池の発熱、破裂、発火の原因となります。
- キーボードや電池に釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたり、機械で押し潰したり、切断したりしないでください。電池の発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れたり、電磁調理器（IH 調理器）の上に置いたりしないでください。電池の発熱、破裂、発火の原因となります。
- 保護機能を無効にする可能性がある、誤った種類の電池（例、一部の種類のリチウム電池）を使用しないでください。電池の発熱、破裂、発火の原因となります。
- USB Type-C コネクタに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入らないようにしてください。発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電池の液体が漏れた場合は、顔や手に触れないようにしてください。失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
万一、液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

注意

- 落下などにより思わぬ事故となる場合がありますので、平らで滑らない場所に設置してください。落ちたり、倒れたりして、怪我の原因となることがあります。
- 小さなお子様の手が届く場所には設置しないでください。怪我の原因となります。
- キーボードの上に重い物を置いたり、キーボードの上で作業をしないでください。故障や怪我の原因となります。
- 強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。
また、静電気を避け、床材やセツする机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。静電気によって、キーボードが誤動作することがあります。
- キーボードとコンピュータ、またはモバイル機器は出来るだけ見通しのきく場所にセットすることを推奨します。電波を遮るような障害物（壁、金属の板など）があると、通信が出来なくなったり、通信速度が遅くなることがあります。
- 寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、キーボードが結露することがあります。そのまま使用すると、入力不良の原因となりますので、暖かい部屋に 1~2 時間程度放置して、内部が乾いてから使用してください。
- 雨天や降雪時に屋外へ持ち出す場合は、濡らさないように注意してください。
万一キーボードが濡れた場合はふき取るか時間を置いて乾いてから使用してください。
- 本製品の USB ケーブルは濡れた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。
- USB ケーブルを抜き差しする場合は、必ずコネクタ部を持ち無理な力を加えないでください。火災や感電の原因になります。
- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局※」が運用されていないか確認してください。
万一、本製品と「他の無線局※」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。
※「他の無線局」とは、本製品と同じ 2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。
- 本製品規格以上の USB 変換 AC アダプターなどを使用して充電しないでください。
発熱、破裂、発火する可能性があります。
- 雷がなっているときに、本製品に触れないでください。
落雷により感電する恐れがあります。